



300 咖啡所
コメダ珈琲店



News Release

2018年9月28日

株式会社コメダホールディングス

コーポレート・サステナビリティへの取り組みに関するお知らせ

三菱商事株式会社様協力のもと、グローバルでサステナブルな活動を牽引する農産物事業会社から、珈琲豆の調達を開始。

株式会社コメダ（本社：愛知県 代表取締役社長：臼井興胤 グループ店舗数：831 店舗(2018年8月末時点)）は三菱商事株式会社様（本社：東京都 代表取締役社長：垣内威彦）協力のもと、グローバルでサステナブルな活動を牽引する農産物事業会社から、珈琲豆の調達を開始しますのでお知らせします。

■「くつろぐ、いちばんいいところ」を持続させるための取り組み

コメダ珈琲店（以下「コメダ」）は1968年の創業以来、喫茶文化が根付く名古屋を中心にフルサービス型の喫茶店として“くつろぎの場”を提供し、創業50周年を迎えました。現在は国内外の様々な地域に出店し、お客様をお迎えております。50周年という節目を迎え、“心にもっとくつろぎを”を50周年ミッション宣言として掲げ、お客様により一層おくつろぎいただけるよう、そして「くつろぐ、いちばんいいところ」を永遠に持続させるべく、「KOMEDA COMES TRUE.」を合言葉にプロジェクトをスタートさせます。

■ 取り組み開始の背景

今回の取り組みは、三菱商事様から、同社資本業務提携先であるOlam International Limited社（以下「Olam社」）の企業理念・姿勢について説明を受けたことがきっかけとなっています。Olam社は、世界の食と農を取り巻く数多くの課題解決に400万戸以上の農家と日々正面から向き合いながら取り組む等、社会課題の解決を経営の根幹に据えています。このOlam社の企業姿勢に共感し、当社としても毎日ご来店いただくお客様と共に、「くつろぐ、いちばんいいところ」を持続させていきたいとの思いから、生産地と向きあい、生産者との関係作りを開始します。具体的には、調達する珈琲豆のトレーサビリティ確保及び生産地域からの安定的かつ長期的な調達を進めます。

■ KOMEDA COMES TRUE. かなえてゆきたいこと、いっぱい、いっぱい。

今回の取り組みは、コメダにご来店のお客様、加盟店の皆様、お取引先様、株主の皆様、当社の社員も含め、様々なステークホルダーの皆様の夢を、コメダを通じて叶えていく「KOMEDA COMES TRUE.」を合言葉に展開してまいります。有田焼のカップで提供させて頂く一杯のコーヒーが、地球の裏側の生産者をつなぐ架け橋となります。コメダから始まるくつろぎの輪が、やがて大きくなりこの地球に笑顔を増やしたり、子どもたちの子どもたちの子どもたちへ、くつろぎタイムを手渡してゆけたり、いつものコメダブレンドを味わっていただくことで、いっぱい、いっぱい、かなえてゆけることがあります。このような活動をコメダらしく順次進めていきたいと考えております。お客様の“心にもっとくつろぎを”お届けする「ずっとずっとくつろぐ、いちばんいいところ」へ。そのために、お客様にとって美味しいこと、嬉しいこと、大切なことをFC加盟店様と一体となり、たくさんかなえていきたいと考えております。



～50周年ロゴのご紹介～ 「伝統は、くつろぎです」

コメダ珈琲店は1968年に名古屋で誕生し、いよいよ創業50周年。「街のリビングルーム」として、

今日も全国のさまざまな地域でお客様をお迎えております。ずっと変わらない「くつろぎ」を、これまでも、これからも。

本件に関するお問い合わせは(株)コメダ広報グループ野瀬/清水までお願い致します。TEL:03-6450-5505/mail:pr@komeda.co.jp